

会員の皆様へ

令和8年7月23日
赤塚番匠免町会
会長 曾根田吉佐



「日赤募金活動」のご報告

真夏日(気温30度以上)が観測史上最多だった昨年と比べて比較的涼しかったと言える今年の梅雨でしたが、明けると同時に熱中症への警戒が必要となっております。皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

新たに予報用語となりました「酷暑日(気温40度以上)」にも備えて、十分な水分補給と冷房の適切な使用で安全にお過ごしくださいますようお願いいたします。

さて、先般お願いいたしました「日赤募金」につきましては、大変多くの方々にご賛同をいただき、募金活動を円滑に進めることができました。

募金にご協力いただいた会員の皆様はじめ募金箱を持って活動して下さった班長さん方、とりまとめて下さった部長さん方にあらためて御礼申し上げます。

募金総額は87,132円でした。板橋区宛納金いたしましたのでご報告申し上げます。

皆様からお預かりした募金は、日赤の活動そのものの費用である「救援金・活動資金」として以下のような分野で活用されます。

災害救護……医療救護班派遣、救急資機材整備、備蓄
国際救援……海外の災害・紛争・難民支援
救急講習等……救急法、水上安全、幼児安全などの講習運営
ボランティア……地域ボランティア・青少年赤十字の育成支援
医療・福祉……看護師・医師等の人材育成、医療機器整備、福祉施設支援
防災・減災……地域の防災教育指導者育成や訓練、啓発口

今年の日赤の活動の具体例としては、以下のようなものがあります。

令和6年1月に発生した能登地方を震源とする大地震に対しては、発災直後から継続して医療救護班による救護所の設置や避難所での巡回診療、被災者や支援者へのこころのケアなどを行ってきており、今年も中長期の支援を続けています。

また、今年6月に発生したベネズエラ地震に対して、国際赤十字などと連携し、緊急救援に参加しています。さらに、現地での避難生活の長期化を受けて、追加で3,000万円の資金援助を決定するなど、支援規模を広げています。